

## 令和7年度(2025年度)教育警察常任委員会管外視察の概要

- 1 視察日 令和7年(2025年)11月11日(火)～13日(木)
- 2 視察者 教育警察常任委員会(6名)  
竹崎和虎(委員長)、坂梨剛昭(副委員長)、溝口幸治、  
前田憲秀、杉蔭ミカ、星野愛斗

### 3 視察の概要

#### (1) 台北市政府警察局

台北市政府警察局は、台北市の交通安全や治安維持等を担う中枢機関であり、近年は、ICT(情報通信技術)を活用し、警察業務における迅速な対応体制を構築している。

今回の視察では、TSMCの熊本進出に伴う外国人のさらなる増加を見据え、台北市におけるICT技術を活用した先進事例を視察した。

まず、同局から、①交通安全推進事業、②犯罪防止と広報活動、③ドローンを用いた交通監視、④多言語警察情報サービスに関する概要説明があり、その後、各委員から質疑・応答及び意見交換を行った。

最後に、勤務指揮センター(110番センター)を見学し、交通安全対策や防犯対策等について説明を受けた。



#### (2) 芝山巖公園(台北市)

芝山巖は、台湾近代教育の象徴であり、本県出身の平井数馬を始め、楫取道明、関口長太郎、桂金太郎、中島長吉、井原順之助の六氏先生を祀る台湾教育の聖地とされ、日本統治時代に起きた「芝山巖事件」で知られている。

今回の視察では、台湾近代教育の礎を築いた熊本県との歴史的な関係について学ぶとともに、六氏先生の墓所等を見学した。



### （３）静宜大学（台中市）

静宜大学は、キリスト教系私立大学で、学生数が１万人を超える６学部２２学科の総合大学である。また、アメリカ、ヨーロッパ、アジア各地に姉妹提携校があり、２０２５年には、「台湾で最も国際化が進む大学」の第４位（私立大学では１位）となった。

熊本県関係では、宇土高校・中学校が平成３０年１月、天草高校が令和５年１２月に姉妹校協定を締結し、ツアーや大学施設の見学等を実施するとともに、人吉市や天草市など行政機関とも友好関係を築いている。

今回の視察では、台風の接近に伴い、静宜大学を含む全ての学校関係が休校となったため、やむを得ず、オンラインにより交流を行った。

まず、同大学の教育目標・理念、キャンパス、学部・学科、国際交流等について概要説明があり、その後、熊本県出身留学生との交流・意見交換を行った。

各委員から、「授業や日常生活で言葉やコミュニケーションが抵抗なく分かるようになったのはいつ頃か」「学習面や生活面で、日本との違いに驚いたことは何か」「熊本県議会議員に期待する今後の支援等は何か」といった質問がなされた。

一方、林学長から、「熊本県から優秀な学生が本学に進学しており、今後は、台湾や日本の各地で架け橋となり、相互の理解促進に貢献していくことを期待している。」との発言があった。



### （４）台北市政府教育局

台北市政府教育局では、熊本県と台北市における児童生徒及び教職員の交流活性化を図るため、「教育交流協力に関する了解覚書」を締結した。

湯教育局長から、「熊本県代表団に県議会の委員が含まれていることは、熊本県側が今回の覚書締結を重視し、議会も全面的に支援していると理解。」と発言があったのに対して、越猪教育長も「今回の覚書締結が青少年及び教職員の交流活性化やグローバル人材育成に寄与することを期待している。」と述べた。

